

# EA115G-11,-12(コンデンサチューブクリーナー)取扱説明書

(アメリカ)

Ver.1.1

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

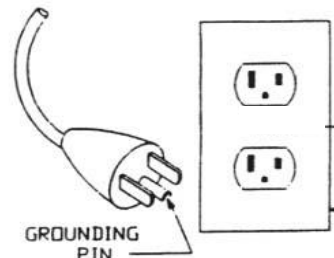
## 『安全作業の為の重要事項』

1. ご使用前に、必ずこの取扱説明書をご覧ください。
2. 常にこの説明書を機械のそばに置いておいてください。
3. 作業中は防護メガネを必ず着けてください。
4. 適切なサイズのクリーニング・ツールをご使用ください。
5. 器機の点検時、又はしばらく使用しない場合には電源を切ってください。
6. 電源を切る前に、必ず全ての作業を終えてください。
7. 電源を切るときにはプラグをつかんでください。----- コードをつかんで電源を切らないで下さい。
8. コードやプラグが損傷した場合には、機械を使用しないでください。
9. 機械が適切に作動しなかったり、損傷を受けた場合には、工場へ修理・点検に出して下さい。
10. 摂氏79°C以上の環境下では、機械の使用は避けてください。
11. 器機の底部やプラグを濡れた手で触らないでください。
12. 可燃性の液体などが有る場所では、機械を使用しないでください。
13. 服装の一部や髪・身体の一部が、機械の開け口や作動部品に触れない様にしてください。
14. 機械は常に手入れをしておいてください。
15. 機械の周りをコードで巻いたり、コードを引っ張ったり、コードを挟んだまま扉を閉めたり、又は鋭利な角にコードが触れたりしない様に気を付けてください。コードは熱を持った場所から離しておいて下さい。
16. 疲れている時や、飲酒の影響が体に残っている時には、機械を操作するのを止めて下さい。
17. 不安定な場所に機械を置かないで、常に安定した所に置いてください。
18. 説明書の補修手続きに従ってください。
19. 作業中は細心の注意を払って行ってください。
20. GOODWAYの推奨する付属品のみを使用してください。



### 警告

作業開始前に、作動部品に支障がないか確認してください。  
この機械は熟知した作業者のみ使用してください。



## 『アースに関して』

この機械はアース処理をしなければなりません。もしもこの機械がう作動しなかったり、破損した場合には、アース処理を施した事によって電流の逃げ道をつくり、電気ショックを最小限に食い止めます。  
この機械には、アース導線とアース・プラグが装備されています。アース・プラグは適正なコンセントに差し込んでください。



### 危険

アース導線の処置を間違えると、感電死する恐れがあります。  
もしも、アース処理が適切に行われているかどうか疑問に思われた時は、専門の電気技師にお尋ねください。  
この商品に他のアダプターは絶対に使用しないでください。

## 『漏電防止遮断機』

当機種には、電源コードに漏電遮断機が装備されています。これによって電気ショックを防ぐ事ができます。  
プラグやコードの取り替えが必要になった時には、漏電遮断機が装備された専用の製品をご使用下さい。

## 『延長コード』

当製品に適応したアース・タイプの三つ又プラグや、三穴のコード・コネクタの付いた延長コードだけを使用してください。又、屋外使用の延長コードだけを使用して下さい。破損したコードは使わないで下さい。  
ご使用前、又は破損の為取り替えする時には、事前に延長コードを点検してください。  
延長コードを使用するときには、この機械が必要とする電流を十分に供給出来る仕様になっているか確認してください。

小型のコードでは、電圧不足で機械が動かなくなる可能性があります。  
延長コードの乱用や電源を切るときに、急にぐいっと引っ張って抜かないでください。  
高温の場所や、鋭利なものが置かれている場所から離れて保管してください。  
常にソケットから延長コードを抜き、それから機械に接続されている延長コードを抜いて下さい。



### 警告

感電死を避ける為、全ての接続機器は地上から離して乾燥状態を保ってください。  
決して濡れた手でプラグを触らないで下さい。

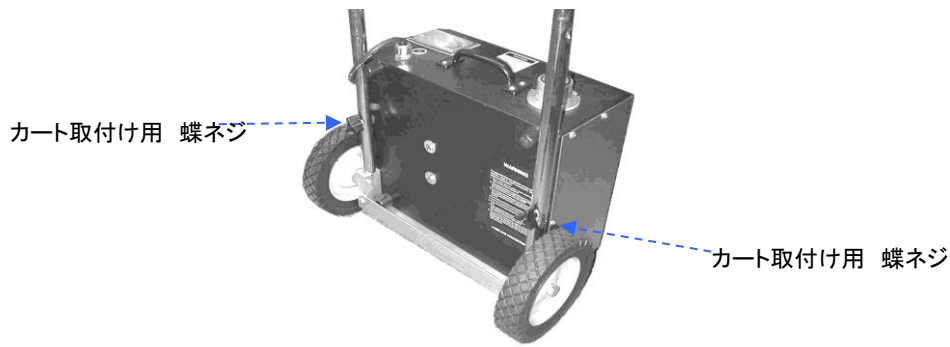
## 『使用方法』

シャフトは、洗浄するチューブのサイズに合った各種の長さや直径に対応しています。  
シャフトが防水ナイロン・パイプの中で回転すると同時に、パイプを通じて洗浄機に水を送り込みます。  
回転シャフトをチューブ管に通すと、水が噴き出して堆積物をほぐしながら排出していきます。  
ソレノイド・バルブは、機械が作動している間に水を自動的に流し続けます。  
1HP(0.75kw)モータを装備した当機種は、1"-(25.4mm以上)内径パイプの洗浄に対応しています。  
コンパクトで、独立式の造りで狭い場所での作業に適しています。



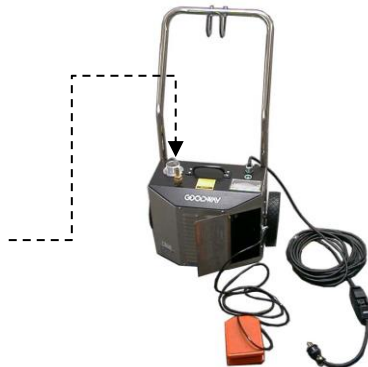
## 『組立』

1. 本体機を前面の鎧戸側を下にして、ベンチ又は床の上に置きます。
2. ハンドル・バーに付いている穴に、2つの大きなプラスチックでできた蝶ネジを差し込み、機械の真中にあいている各差し込み穴に、緩めに余裕をもってねじ込みます。
3. 接合したバーを機械に対して押し上げると、手押し車のバーが機器底面にきっちりとはめ込まれます。
4. 先ほどの蝶ネジをきつく締めて機械を立てます。



## 『フレキシブル・シャフトの接合』 — 全機種

1. 洗浄するパイプの直径や長さに応じて、適切なフレキシブル・シャフトをお選びください。
2. フレキシブル・シャフトの四角軸の端を、機械のドライブ・シャフトの四角い穴に差し込んで下さい。シャフトを少し真直ぐになるように回して下さい。
3. Oリング(P/N805)が正しくはまっているのを確認して大きなナットをきっちりと締めて下さい。

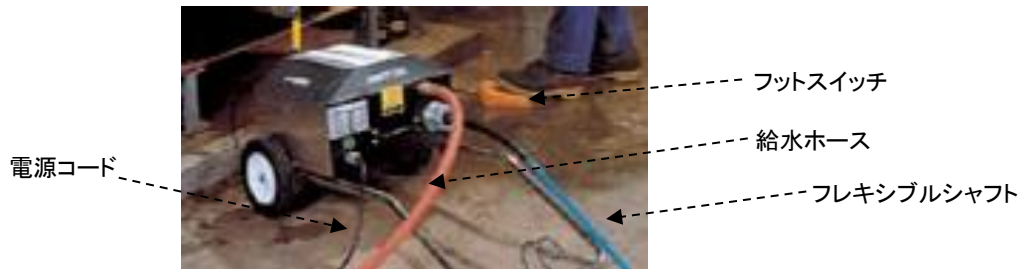


## 『操作』

警告：本機を操作するときは、目を守る為に必ずメガネを装着してください。

『水を使って洗浄する場合』-----全機種

1. ホースを水の取り入れ口につなぎます。水を供給する時には、ソレノイドバルブの口がふさがれない様に、不純物が入らない様にしてください。



2. 水をラインに供給して下さい。作動機械のソレノイドからは、機械が動いている時だけ水をフレキシブル・シャフトに送り込みます。
3. 電気コードは機械に表示されている電圧・アンペア数に対応したソケットに差し込んでください。
4. 本体を横にすると、フレキシブル・シャフトは床に対して平行になります。



5. 工具収納ボックスからフット・スイッチを取り出して、操作し易い場所に設置してください。




6. 適切な洗浄道具を選んで、フレキシブル・シャフトの端にセットしてください。パイプの内径以上の道具は決して使わないでください。



〈注〉:ほとんどのチューブは、チューブ表に載っていますが、常に内径は確認していただき、外径や

ゲージを知るにはメーカーのマニュアルを参考にしてください。

(供給可能先端部品)



フレキシブルシャフト(別売)  
EA115GA-16~-34  
適応チューブ  
14.3~25.4mm、25.4mm以上

EA115GG-1~12

EA115GG-21~32

EA115GG-41~56

EA115GH-1~-9

EA115BH-11~-19  
(11~13はネジアダプタ必要)

EA115GG-61~-68

EA115GG-71~-75

EA115GG-81、-82

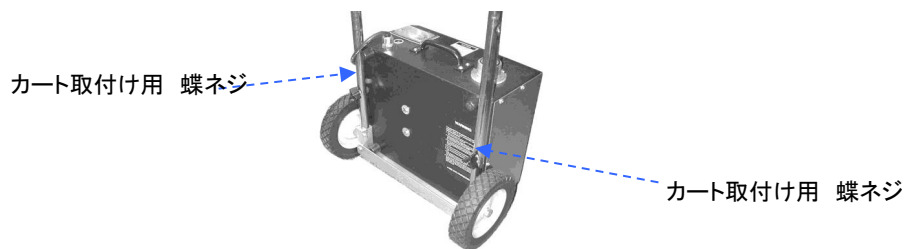
EA115GG-85

他 水道水供給用ホースも別途必要です。

7. フレキシブル・シャフトの外側に付いているシャフト位置装置(ストッパー)を適切な位置にセットして下さい。そうすれば、シャフトが管の中に十分入り込んで、管の反対側に少しだけ洗浄器具が出るだけになり、突き抜ける事はありません。



8. 必要であれば2つの蝶ネジを外し、機械本体を手押し車から取り外して使用出来ます。



9. フレキシブル・シャフトを完全に巻き広げてからチューブに差し込みます。この時は、無理にシャフトをチューブに押し込まないでください。機械を作動させ、違和感を感じたら2"-3" (51-76mm) 程度後ろへ引いて、再度スムーズに行くまでシャフトをチューブに差し込みます。さらに違和感が感じられれば、1サイズ小さな洗浄器具を使ってください。

10. 出来れば、シャフトをチューブに挿入してから作業に移るまで、2~3時間そのままにしておいて下さい。そうすれば、フレキシブル・シャフトの曲がりがなくなり作業がしやすくなります。

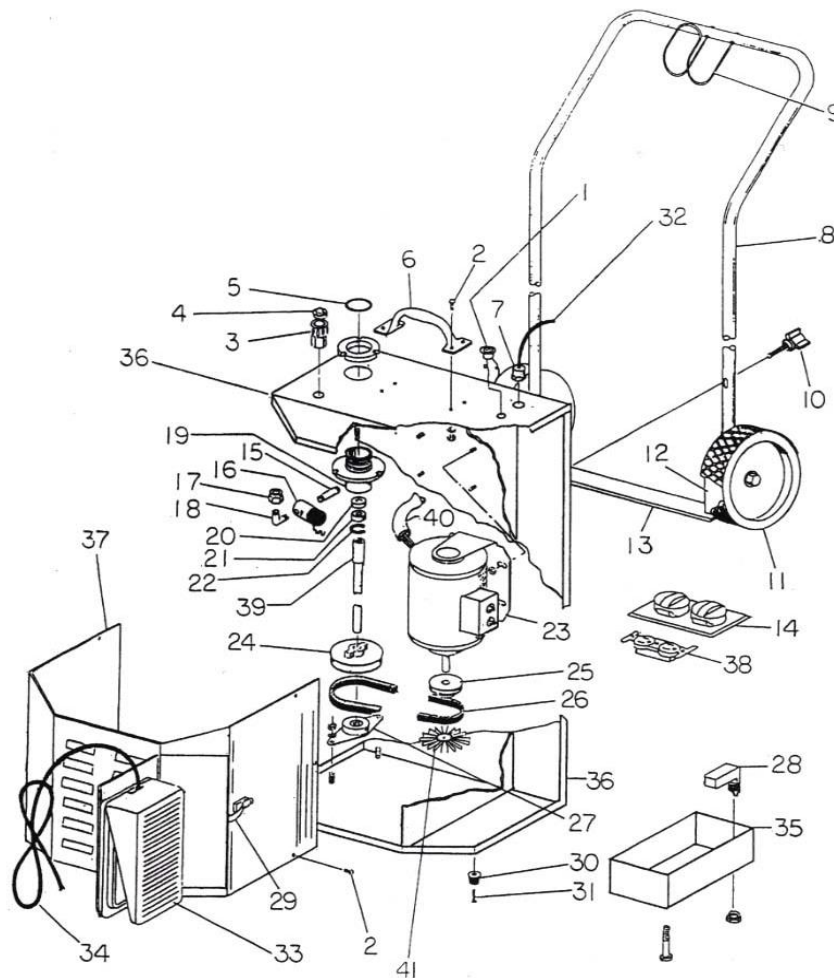
### 『内部に強力に堆積されたチューブの洗浄』

1. まず適切なサイズのブラシを選んでください。そして、それをフレキシブル・シャフトに差し込み手で締められるだけ締めてください。  
シャフトの継ぎ手をプライヤーで固定して止め、ナットをシャフトの継ぎ手に対してしっかりとレンチを使って締めてください。こうすれば、逆方向に回ってブラシが外れるのを防ぎます。  
ブラシは、内側に強力にたまった堆積物を除去する時だけに使用してください。
2. フレキシブル・シャフトの外側に、シャフト位置装置(シャフトストップ)をセットします。チューブ内にシャフトが十分に挿入された時、ブラシの毛の全体部分だけチューブの外側に出る様にします。  
ブラシの毛が、チューブの最後まで内部を清掃するまでは、ブラシを逆回転してはいけません。  
フレキシブル・シャフトが、露出した部分までチューブの反対側に出してしまわない様に、十分気を付けてください。さもないと、チューブの先の尖った部分でワイヤー部分を破損してしまいます。
3. ブラシのデザインとチューブ内の回転運動によって、ブラシが楽にチューブの中を移動できます。  
チューブの中に入れる時は、フット・スイッチの“前進”側を押して下さい。フレキシブル・シャフト内に不必要な汚れを残さない為に、ブラシがチューブの反対側から離れるまで、方向転換や回転の変更はしないでください。フット・スイッチの“後退”側を押して、チューブからシャフトを抜き出す場合は、必ず回転を止めてから行ってください。モーターをまず止めてから後退動作をしなければなりません。(フットスイッチ用エアースイッチもつなぎ変えなければなりません。)  
本機では、シャフトからチューブ内部への給水率の速さが高く設定されています。  
給水率が十分でないでとブラシの毛が溝からそれてしまい、内部に汚れを残してしまいます。

### 『オプションの両方向フット・スイッチを使う』

1. 標準装備のフット・スイッチを、工具箱の中にあるエアースイッチのかぎ止めを引いて取り外します。  
この時、かぎ止めを折らない様に気を付けてください。小さなスクリュー・ドライバーの刃を使って取り外す事が出来ますが、かぎを折らない様に細心の注意を払って下さい。
2. 前述の工具箱内部にあたる2つのエアースイッチに、両方向フット・スイッチをつないで下さい。  
エアースイッチには“前進”と“後退”のラベルが貼ってあります。機械が“前進”方向になっている場合、後側から見るとブラシは時計方向に回っています。  
フット・スイッチのどちら側を押せばどのように動くかを分かっているならば、チューブをどちら側のエアースイッチに接続させても結構です。
3. 標準装備のフット・スイッチに再度接続する時には、エアースイッチの“前進”と表示のある方にチューブを接続してください。

### 『部品図』



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業行程に支障を来す場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL: (06) 6532-6226 FAX: (06) 6541-0929

2.Oct